

「探求と創造 ～進化を続ける青年部～」

～コロナ禍においても絶やさぬ青年部活動～

2021-2022 事業報告書

工組・支部名：北海道電気工事業工業組合青年部連合会 釧路支部
資料提出日：令和3年8月

1. 【事業名】

【区分】 新規事業 ・ 継続事業（4期目） ※該当事業を選択してください。

【分類】（ J ） 下記A～Fより選択してください。

A:意見交換会	B:体験型	C:ボランティア	D:交流	E:研修
F:寄贈、寄付	G:制作・製品化	H:提携	I:コンテスト	J:その他

2. 【実施日時・作成者】

作成者：青年部部长 加藤

3. 【実施場所】

釧路市幸町緑地

4. 【提言書 2020 との適合性】 本事業に当てはまる項目番号と提言書ページ数をご記入ください

提言書 2020 ➡ <https://tinyurl.com/yhrft7xb>

①人材育成と後継者育成（P.5～） ②組合員の経営安定化の支援（P.12～）

③技術・施工品質の向上と経営能力の向上（P.16～）

◎項目番号： ① _____ ◎提言書ページ： 10 _____

◎提言書にない場合： _____

5. 【事業目的】 地域貢献と電気工事業界のPRを通して、青年部としての意識向上と若者からあこがられる業界創りの一助にすることを目的とする

6. 【事業内容】 イベント開催に伴うステージおよび露店の仮設電気工事一式
組合PR動画の作成と放映

7. 【参加員数】 青年部員及び青年部所属企業従業員 14名

8. 【外部協力者】 くしろ霧フェスティバル実行委員会

9. 【事業総額】 日当支給のみ

10. 【事業の成果・PRポイント】

仮設工事を通して、普段一緒に作業をすることの無い青年部の仲間との時間は大変貴重な時間となり、参加した部員どうしの繋がりは更に強固なものへと成長した。本年は、青年部所属企業からの応援をいただき、青年部員以外の新たな電工同士の繋がりも出来ました。

また、PR事業については、多くの若者が集まるイベントで、注目度の高いステージモニターにより動画放映したことで、多くの若者の目に触れ業界を知ってもらうことが出来ました。

業界PRは根気よく継続していくことの大切さをあらためて感じた事業となりました。

11. 【反省点または工夫した点】

例年とは違う会場配置となり、不明な点も抱えながら作業を開始したため、工具や資材の不足による作業中断が何度か発生しました。主催者側も新しい試みの中、作業を進めながら決めてい

「探求と創造 ～進化を続ける青年部～」

～コロナ禍においても絶やさぬ青年部活動～

く事も多く苦勞しましたが、現地で何度も打合せを重ねコミュニケーションを継続してとることで、トラブルもなく期限内に引き渡すことが出来たことは良かった点だと思います。今後は現地でのコミュニケーションに加え、事前の打ち合わせに時間をかけることでもう少しスムーズな施工ができると思います。

12. 【別添資料（写真・動画等）】



釧根電気工事業協同組合青年部HP：<http://senkon-denki.sakura.ne.jp/seinenbu/gyoji.html>